

YRS
ユアース



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第190号

トピックス

新年度を迎えて

施設長 竹内 恵子

コロナに明け暮れた1年でしたが、振り返ってみると、いくつかの新しいことに取組めた年でもありました。令和2年度の事業実施状況についてご報告します。

◆通訳派遣・研修事業：派遣・紹介人数は計9,069人（令和元年度：12,764人）となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、緊急事態宣言中の5月については、行事や会議の通訳派遣依頼は、ほぼ全てキャンセルとなり、年間合計で手話は前年比77.7%、要約は31.8%となりました。

5月末からは、感染者対応の遠隔手話通訳サービスが県事業としてスタートしましたが、横浜ラポールでも、日本財団から無償貸与された遠隔手話通訳システムを急遽導入しました。令和3年1月からは、新たに「J-TALK」（株）アステムの遠隔手話通訳アプリ）による対応を開始しました。この間、オンライン等による会議やイベントの通訳依頼が急増しました。手話通訳者研修も、ほぼ全てオンラインに切り替えて実施した他、毎年3回（合同1回、手話、要約各1回）の派遣事業運営委員会はいずれも合同とし、2回目はオンラインと参集を併用して開催しました。

◆養成事業への協力：（一社）横浜市聴覚障害者協会（横聴協）が実施する手話養成事業のうち、手話奉仕員及び手話通訳者養成、横浜市中途失聴・難聴者協会（浜難聴）が実施する要約筆記者養成については、全て中止となりました。登録試験は、手話・要約とも再受験者を対象に行われ、手話は1人、要約は手書き3人、パソコン3人の方が合格されました。

◆聴覚障害者相談事業：相談事業においても、訪問相談等の活動に制限があるため、急遽LINEのビデオ通話機能を使った遠隔相談対応を開始しました。3月末時点の利用件数は191件となっています。

出張、面談等による対応延べ件数は1,210件（昨年度1,180対比102.5%）となりました。また、新たな取組としてラポール上大岡のスポーツ事業課と共催の「聴覚障害者対象健康学習」については、当初3回実施予定のところ1回のみとなりましたが、ろう高齢者11人の参加がありました。

◆普及・啓発事業：横聴協、浜難聴、横浜市手話通訳者協会、横浜市要約筆記者協会にご協力いただいた、「聴覚障害者理解のための啓発DVD～聞こえないってどんなこと～」が完成し、3月23日の作成委員会でお披露目しました。今後は、情提の啓発事業の他、各団体の学習や研修でご活用いただければと思います。

◆ビデオライブラリー事業：今年も障害者放送通信機構へ提供する番組として、横聴協の協力のもと横浜を題材とした2作品の他、各種手話動画を作成しホームページで配信した他、感染予防等に関する動画も配信しました。

変異株の拡大傾向により4月20日（火）から神奈川県にも蔓延防止等重点措置が適用されるなど、収束はまだ先のようです。ワクチン接種時の情報保障も課題ですが、これも見通しがつきません。

心落ち着かない日々が続きますが、引き続き感染予防に努め、職員一同、関係団体の皆さまと、力を合わせて乗り越えていければと思います。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

派遣事業

令和3年度手話通訳者・要約筆記者事業連絡会を開催しました

4月18日（日）の午後、初の試みとして標記連絡会をオンラインにより開催しました。出席者は188人（オンライン参加者178人、来所者10人）でした。この連絡会は手話・要約筆記者と情提職員が、新年度の組織（通訳者・情提職員）体制、派遣事業に関する状況、研修計画、通訳業務に関する留意点を確認する場として、年度当初に実施しています。昨年度は、感染拡大のため中止となりましたが、今回は、横聴協の井上良貞理事長、浜難聴の須山優江会長のご挨拶を事前収録による動画配信にするなど、なるべく参集を少なくし、感染対策を講じて実施しました。

はじめに施設長より派遣事業に関する令和3年度の国・神奈川県・横浜市の状況説明等を行いました。通訳業務に関する説明では、基本的な事項と特に留意してほしい点（変更・追加箇所）、また遠隔手話通訳等についてお話し、研修事業では1年間の研修計画について説明を行いました。

新年度の通訳者体制は、手話通訳者170人（非常勤21人、登録149人）、登録要約筆記者71人です。今年度も引き続き、事業のより円滑な運営に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。



情提事業

市立ろう特別支援学校の生徒さんへ事業説明を行いました

2月15日（月）、横浜市立ろう特別支援学校高等部3年生11人と引率の教員3人が当施設へ訪問学習に来られました。今年で10回目になります。昨年に引き続き、パソコン通訳による、文字での情報保障も行いました。挨拶・事業紹介の後、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、遠隔手話通訳、聴覚障害者相談事業等の説明を行いました。横聴協の井上理事長からは、通訳や相談について自身の経験を踏まえてお話ししていただき、最後に横聴協と当施設の事務所を見学しました。皆さんの今後の活躍を期待しています。

相談事業

関東ろうあ者相談員連絡会に参加しました

3月19日（金）、オンラインで第3回関東ろうあ者相談員連絡会が開催されました。緊急事態宣言の中、前回に続き、聴力障害者情報文化センターがホストとなり、17人の会員がそれぞれの職場から接続する形で実施しました。令和3年度～4年度の役員体制について協議し、事務局は聴力障害者情報文化センターが担当することとなりました。その後、コロナ禍での相談支援の状況について情報交換を行い、各相談事業所で相談件数が減ったとの報告や、オンライン相談を実施している事業所から相談状況と課題が報告されました。次回の連絡会は、5月12日（水）に開催の予定です。

～ 職員の異動がありました ～

【退職者】

3月31日付	高野 恵美子	(たかの えみこ)	:	(非常勤職員 派遣担当)
	松岡 律子	(まつおか りつこ)	:	(非常勤職員 派遣担当)
	小松 智美	(こまつ ともみ)	:	(非常勤職員 受付・遠隔通訳担当)

【新採用】

4月1日付	伊藤 聖子	(いとう せいこ)	:	(聴覚障害支援員 派遣事業担当)
	吉澤 睦	(よしざわ むつみ)	:	(聴覚障害支援員 派遣事業担当)
	井川 嘉子	(いがわ よしこ)	:	(非常勤職員 受付・遠隔通訳担当)

研修事業

非常勤通訳者専門研修を実施しました



緊急事態宣言下ではありましたが、3月10日（水）に国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科教官の木村晴美氏をお招きし、「翻訳技術～日本語から日本手話～」の講義と実技研修を実施しました。上記研修に、非常勤通訳者23名が参加しました。

講義では、通訳理論を中心に、言語間翻訳をする際の留意点などをお話していただきました。また実技では、事前に4つの課題文を手話動画にしたものと、講師のモデル動画を比較し、翻訳や表現の違いを自ら分析し発表しました。

日本語と日本手話の違いを改めて認識するとともに、翻訳のポイントを理解することができた大変有意義な研修となりました。

普及・啓発事業

浜の会茶話会に参加しました



4月5日（月）「浜の会 茶話会（於：横浜市西区福祉保健活動拠点フクシア）」に参加しました。スタッフも含め約15人が参加していました。

当施設からは職員2人が参加し、始まったばかりのJ-TALKアプリを使った遠隔通訳の説明を行いました。また、茶話会の会場とラポールをJ-TALKで繋いで通訳する場面を実際に見ていただき、希望者には利用登録の支援を行いました。今後も定期的に参加し情報提供を行い、当施設の利用につなげていきたいと思っております。

ラポール事業

字幕付き演劇会を開催しました

3月13日（土）、14日（日）ラポールシアターにて劇団「横浜桜座」と横浜ラポールとの共催で、劇団「横浜桜座」プロデュース演劇「Don't say you can't」が上演されました。障害者支援施設を舞台に様々な人達の夢への挑戦を描いた内容です。

この公演では、ステージ下のスクリーンに字幕が表示され、タブレット型字幕サービスを試験的に行いました。字幕制作・表示は字幕サークル「まじっく」が行い、当施設も協力しました。タブレット型字幕サービスは、ご希望の方にタブレットを貸し出し、劇中のセリフに合わせてタブレットに字幕が表示されるというものです。聴覚障害者の方数名にご利用いただき、「公演をリアルタイムで楽しめた」などのご感想をいただきました。

次回の字幕付きイベントは以下になります。詳しくはホームページをご参照ください。

～ 横浜ラポール字幕付き映画上映会 ～

今日も嫌がらせ弁当

日時：令和3年6月26日（土）14：00上映開始

会場：ラポールシアター

申込先：参加者全員の氏名・年齢・障害の有無・代表者の住所・氏名・電話番号を明記の上

横浜ラポール字幕付き映画会「今日も嫌がらせ弁当」T係宛

FAX：045-475-2053 Mail：rapo-bunka@yokohama-rf.jp

ホームページ：<http://www.yokohama-rf.jp/rapport/>

150人
無料ご招待

一次締切
6月11日

出た！データ！

(令和2年度)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	R元年度	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	5, 237	123	5, 360	6, 178	医療	118	227
司法	28	2	30	57	職業	35	73
教育・保育	427	6	433	904	教育	2	2
労働・雇用	301	12	313	774	住宅	39	83
社会生活	1, 729	28	1, 757	2, 035	生活	173	342
自己啓発	65	11	76	247	福祉	197	353
福祉推進	707	340	1, 047	2, 407	法律	17	72
相談員	0	0	0	1	聞こえ	7	8
他都市より	48	5	53	161	合計	588	1, 210
合計	8, 542	527	9, 069	12, 764	R元年度	581	1, 180
R元年度	10, 983	1, 781	12, 764				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作 ()はR元年度

手話研修	回数	31 (36)	参加人数	745 (1, 011)	自主制作作品数	65 (65)
筆記研修	回数	22 (29)	参加人数	349 (703)		

■遠隔手話通訳事業

■普及・啓発事業

区	件数	区	件数	区	件数	派遣先	派遣件数	参加人数
鶴見	13	西	0	栄	1	国・県・市機関	0	0
神奈川	2	南	1	旭	10	介護関係団体	0	0
港北	0	港南	3	戸塚	3	教育機関	1	15
緑	0	金沢	2	瀬谷	1	企業等	0	0
都筑	4	磯子	0	泉	1	聴覚障害者団体	4	60
青葉	5	中	1	保土ヶ谷	12	その他	2	39
				市庁舎	1	合計	7 (22)	114 (769)
				件数合計	60 (52)			

■視聴覚機器の貸出

物品名	保有数	貸出件数	物品名	保有数	貸出件数
スクリーン	6	33	OHC	5	81
磁気テープ	2	5	ブルーレイディスクレコーダー	1	2
液晶プロジェクター	7	178	PC/文字通訳用機器	4	284
テープレコーダー	3	27	PC文字通訳用機器個人用	2	34
ビデオカメラ	1	11	合計 (R元年度)		655 (1, 642)

情報活動

- | | | |
|--|--|--|
| <p>3月</p> <p>2 手話登録試験委員会 (横聴協)</p> <p>2 市派遣要綱に関する説明 (横聴協)</p> <p>3 特殊検診担当医療機関との面談 (港町診療所)</p> <p>3 市派遣要綱に関する説明 (浜難聴)</p> <p>9 市派遣要綱に関する説明 (通訳者団体)</p> <p>5 情報協議会第三ブロック会議 (オンライン)</p> <p>5 手話養成運営委員会 (横聴協)</p> <p>10 手話通訳者専門研修</p> <p>10 非常勤手話通訳者会議</p> | <p>12 視聴覚機器点検 (上大岡)</p> <p>13~14 字幕付き演劇会 (横浜桜座)</p> <p>15 指定管理選定委員会 (1回目)</p> <p>17 コニカミノルタとの打合せ</p> <p>17 相談員MT</p> <p>14 手話通訳I選考会 (横聴協)</p> <p>19 災害救援本部会議 (コロナ関係)</p> <p>19 関東ろうあ者相談員連絡会 (オンライン)</p> <p>21 手話通訳養成II選考会 (横聴協)</p> <p>23 啓発DVD作成委員会</p> <p>24 主管課打合せ</p> <p>24 組合団体交渉</p> <p>27 手話養成講師会 (横聴協)</p> | <p>4月</p> <p>1 新採用職員辞令交付</p> <p>3 手話養成開講式 (横聴協)</p> <p>3 手話要請運営委員会 (横聴協)</p> <p>5 浜の会茶話会参加 (西区)</p> <p>12 視聴覚機器点検</p> <p>12 防災機器点検</p> <p>16 手話要請運営委員会 (横聴協)</p> <p>18 通訳者事業連絡会 (オンライン)</p> <p>19 非常勤手話通訳者会議</p> <p>28 主管課定例会議</p> |
|--|--|--|

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：令和3年4月30日

発行者：(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>